

「律法と福音の関係」

ヘブル書 2章2～4節

こういうわけです()ですから
私たちは、聞いたことを
ますますしっかりと、心に留め
押し流されないように
しなければなりません。

御使いたちを通して語られたみことばに
効力があり
すべての違反と不従順が
当然の処罰を受けたのなら

こんなにはばらしい救いを
ないがしろにした場合
私たちはどうして
処罰を逃れることができるでしょう。

この救いは
初めに、主によって語られ
それを聞いた人たちが、確かなものとして
私たちに示したものです。

そのうえ、神も

しるしと不思議と様々な力あるわざにより

また

みこころにしたがって

聖霊が、分け与えてくださる賜物によって
救いを証ししてくださいました。

1章

預言者・御使いに対する

イエス・キリストの優越性

2章 1〜4節

”ごういいうわけですから・・・“ は
括弧・挿入

2章 5〜8節

御使いに対する

イエス・キリストの優越性

こううつわいで(づ)すから

私たちは、聞いたことを

ますますしっかりと、心に留め

押し流されないように

しなければなりません。

不注意!

本日のポイント

I. 律法 VS 福音

II. 福音の成立

I. 律法 vs 福音

御使いたちを通して語られたみことばに
効力があり

すべての違反と不従順が
当然の処罰を受けたのなら

こんなにすばらしい救いを
ないがしろにした場合

私たちはどうして

処罰を逃れることができるでしょう。

ユダヤ的修辞法

軽

から

重

へ

御使いたちを通して語られたみことばに
効力があり
すべての違反と不従順が
当然の処罰を受けたのなら

軽

こんなにはばらしい救いを
ないがしろにした場合
私たちはどうして
処罰を逃れることができるでしょう。

重

律法

御使いたちを通して語られたみことばに
効力があり
すべての違反と不従順が
当然の処罰を受けたのなら

軽

福音

こんなにすばらしい救いを
ないがしろにした場合
私たちはどうして
処罰を逃れることができるでしょう。

重

(もし)

雄やぎと雄牛の血や、若い雌牛の灰を
汚れた人々に振りかけると

それが聖なるものとする働きをして
からだをきよいものにするのなら

軽

まして

キリストが傷のないご自分を
とこしえの御霊によって

重

神にお献げになったその血は
どれだけ私たちの良心をきよめて
死んだ行いから離れさせ

生ける神に仕える者にするって、**どうしょうか。**

あなたがたは、語っておられる方を拒まないように、気をつけなさい。

(もし)

地上において、警告を与える方を拒んだ彼らが、処罰を免れなかったとすれば

軽

まして

天から警告を与える方に私たちが背を向けるならなおのこと、処罰を免れられません。

重

(処罰を免れることができないのは当然ではありませんか。)

A. 律法とその役割

律法

御使いたちを通して語られたみことばに効力があり
すべての違反と不従順が
当然の処罰を受けたのなら

こんなにすばらしい救いを
ないがしろにした場合
私たちはどうして
処罰を逃れることができるでしょう。

律法の役割

律法

御使いたちを通して語られたみことばに効力があり

すべての**違反と不従順**が当然の処罰を受けたのなら

こんなにはばらしい救いを
ないがしろにした場合
私たちはどうして

処罰を逃れることができるでしょう。

それでは、「**律法**」とは、何でしょう。

それは

約束を受けたこの子孫が来られるときまで

違反を示すために、つけ加えられたもので

御使いたちを通して

仲介者の手で、定められたものです。

ガラテヤ書 3章 19節

なぜなら

人はだれも、律法を行うことによっては
神の前に、義と認められないからです。

律法を通して生じるのは、**罪の意識**です。

ローマ書3章20節

こうして

律法は、私たちをキリストに導く養育係
となりました。

それは

私たちが、信仰によって義と認められる
ためです。

ガラテヤ書 3章 24節

律法は

威嚇すれども、助けず

命令すれども、いやさず

弱点を指摘すれども、取り去らず

ただ

恵みとまことを持って

あとから来るべき、医者（キリスト）の
準備をなしたものである。

アウグスチヌス

北アフリカ 西方教会最大の教父

ウィリアム・ティンデル

1495～1536

イギリス
宗教改革者

聖書翻訳者
異端とされ火刑



「律法」と「福音」とは、2つの鍵である。
すなわち

律法は、すべての人を、罪の下に
閉じこめる鍵である。

福音は、その戸を開いて
これを解き放つ鍵である。

ウィリアム・ティンダル

イギリス 聖書翻訳者

宗教改革者 異端とされ火刑

信仰（キリスト）が現れる前

私たちは、**律法の下で、監視され**
来たるべき信仰（キリスト）が啓示される
まで、**閉じ込められていました。**

こうして、律法は私たちをキリストに導く
養育係となりました。

それは、私たちが信仰（キリスト）によって
義と認められるためです。

しかし、信仰（キリスト）が現れたので
私たちはもはや
養育係（律法）の下にはいません。

あなたがたはみな、信仰により
キリスト・イエスにあって、神の子どもです。

A. 律法とその役割

B. 福音への無関心

律法

御使いたちを通して語られたみことばに
効力があり
すべての違反と不従順が
当然の処罰を受けたのなら

福音

こんなにすばらしい救いを
ないがしろにした場合
私たちはどうして
処罰を逃れることができるでしょう。

人は、なぜ、滅びに至るのでしょう？

それは

人が、罪人だからではなく

福音(こんなに素晴らしい救い)を

ないがしろにするからである。

御使いたちを通して語られたみことばに
効力があり
すべての違反と不従順が
当然の処罰を受けたのなら

こんなにはすばらしい救いを
ないがしろにした場合

私たちはどうして
処罰を逃れることができるでしょう。

Ⅱ. 福音の成立(3段階)

この救いは
初めに、主によって語られ
それを聞いた人たちが、確かなものとして
私たちに示したものです。

そのうえ、神も

しるしと不思議と様々な力あるわざにより

また

みこころにしたがって

聖霊が、分け与えてくださる賜物によって
救いを証ししてくださいました。

A. 福音の起源

この救いは

初めに、主（キリスト）によって語られ
それを聞いた人たちが、確かなものとして
私たちに示したものです。

そのうえ、神も

しるしと不思議と様々な力あるわざにより

また

みこころにしたがって

聖霊が、分け与えてくださる賜物によって
救いを証ししてくださいました。

B. 福音の伝達

この救いは

初めに、主によって語られ

それを聞いた人たちが
確かなものとして

私たちに示したものです。

そのうえ、神も

しるしと不思議と様々な力あるわざにより

また

みこころにしたがって

聖霊が、分け与えてくださる賜物によって
救いを証ししてくださいました。

私たちはあなたがたに、私たちの主イエス・キリストの力と来臨を知らせましたがそれは巧みな作り話によったものではありません。私たちは、**キリストの威光の目撃者として** 伝えたのです。

この方が、父なる神から誉れと栄光を受けられたとき、**厳かな栄光の中から** このような御声がありました。

「これはわたしの愛する子。
わたしはこれを喜ぶ。」

私たちは、聖なる山で主とともにいたので天からかかった

この御声を、自分で聞きました。

私たちは、イエスがユダヤ人の地とエルサレムで行われた、すべてのこのことの証人です。

人々はこのイエスを木にかけて殺しましたが神はこの方を三日目によみがえらせ現れさせてくださいました。

民全体にはなく、神によって前もって選ばれた証人である私たちに現れたのです。

そしてイエスは

ご自分が、生きている者と死んだ者の

さばき主として神が定めた方であることを人々に宣べ伝え

証しするように、私たちに命じられました。

C. 福音の力

この救いは

初めに、主によって語られ

それを聞いた人たちが、確かなものとして
私たちに示したものです。

そのうえ、神も

しるしと**不思議**と**様々な力**あるわざ
により

また

みこころにしたがって

聖霊が、分け与えてくださる賜物
によって

救いを証しして、くださいました。

主イエスは、彼らに語った後

天に上げられ、神の右の座に着かれた。

弟子たちは、出て行って

いたるところで、福音を宣べ伝えた。

主は、彼らとともに働き

みことばを

それに伴うしるしをもって

確かなものとされた。

この救いは

初めに、主によって語られ

それを聞いた人たちが、確かなものとして
私たちに示したものです。

そのうえ、神も

しるしと不思議と様々な力あるわざ
により

また

みこころにしたがって

聖霊が、分け与えてくださる賜物
によって

救いを証しして、くださいました。

私たちは、イエスがユダヤ人の地とエルサレムで行われた、すべてのこのことの証人です。

人々はこのイエスを木にかけて殺しましたが神はこの方を三日目によみがえらせ現れさせてくださいました。

民全体にはなく、神によって前もって選ばれた証人である私たちに現れたのです。

そしてイエスは

ご自分が、生きている者と死んだ者の

さばき主として神が定めた方であることを人々に宣べ伝え

証しするように、私たちに命じられました。

ペテロがなおおもっこれらのことを

話し続けていると

みことばを聞いていたすべての人々に
聖霊が下った。

割礼を受けている信者で

ペテロと一緒に来た人たちは

異邦人にも

聖霊の賜物が注がれたことに驚いた。

使徒 10 章 44 ~ 45 節

このイエスを、神はよみがえらせました。
私たちはみな、そのことの証人です。

ですから

神の右に上げられたイエスが

約束された聖霊を、御父から受けて

今、あなたがたが目にし

耳にしている聖霊を

注いでくださったのです。

使徒 2章 32 ～ 33節

本日のすすめ

- ① 福音は、人の創作でなく、神に起源を発する。
- ② 人が滅びに至るのは、福音をないがしろにするからである。
- ③ 正しくみことばが語られる時に、聖霊は豊かに働いてくださる。みことばと聖霊の共働。
- ④ 私たちには、福音伝達が継承されている。